



みなみかぜ

発行：黎明会 南台病院
東京都小平市小川町 1-485
TEL：042-341-7111（代）
<http://www.minamidaihp.jp>

漢方薬の副作用 ～No.1～

薬剤科

時々、「漢方薬は副作用が無いので・・・。」と聞くことがあります。
漢方薬もお薬です。
今回、漢方薬の副作用を大きく分けて3点、まとめてみました。

- 誤治（ごじ）**・・・ 患者さんが合わない漢方薬を服用することで生じる副作用。
漢方薬が合わない場合は、気分不快、食欲不振、不眠、ほてり、発汗、めまい、頻尿、嘔気、嘔吐などの症状がみられます。
- 瞑眩（めんげん）**・・・ 難治疾患が治癒する過程で見られる好転反応としての副作用。
一過性に起こり、症状は、下痢、嘔吐、頭痛、発熱、意識消失、下血、昏睡など激しい症状で、きわめて稀な現象。
- 真の副作用**・・・ 体表面や身体内の過敏反応、心血管系の反応。
1) 偽アルドステロン症：「カンゾウ」を含む漢方薬
2) 間質性肺炎：「オウゴン」を含む漢方薬
3) 薬剤性肝障害：「オウゴン」を含む漢方薬
4) 心血管系症状：「マオウ」「ブシ」を含む漢方薬
5) 薬疹：「ケイヒ」「トウキ」「オウゴン」を含む漢方薬
6) 腸間膜静脈硬化症：「サンザシ」を含む漢方薬



カンゾウ



オウゴン



マオウ



ブシ



ケイヒ



トウキ



サンザシ

当院では土曜日も終日外来診療を行っております。ご利用ください。

診療受付時間

月曜～土曜 AM 8:30～11:30

PM 1:00～4:00

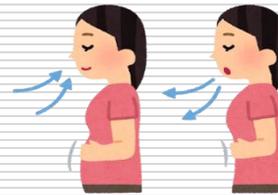
身体健康と呼吸法

リハビリテーション科

我々は生きてい中で、働いていたり、趣味に没頭してたり、はたまたぐっすり眠っていたりなど様々な形で生活しています。こうした中で、意志とは関わりなく、身体機能を健全に保つために働いているのが**自律神経**と呼ばれるものです。

自律神経は、胃や腸、心臓など体内の臓器が休みなく働くために必要なものであり、活動時やストレスに晒されているときに多く働く**交感神経**と、休息時や、リラックスしているときに多く働く**副交感神経**の2つが存在します。この2つのバランスが崩れると、疲れやだるさ、不眠、頭痛、食欲低下といった体調不良が生じ、さらに続くことで**自律神経失調症**と呼ばれる病気に罹ってしまいます。

病気に罹らないためには2つの神経のバランスが重要になりますが、副交感神経は加齢により活動能力が徐々に下がってしまいます。この改善に有効となるのが**腹式呼吸**です！



腹式呼吸は鼻で息を吸いながらお腹を膨らませ、口で息を吐きながらお腹をへこませていく呼吸法です。このとき、4つ数えながら吸い、8つ数えながら吐くようにゆっくり行くと、より副交感神経が多く働きます。ストレスや忙しいときこそ、腹式呼吸で心身をリラックスしましょう！

『無料なんでも健康相談』のご案内

日時：毎週水曜日 PM3:00~3:30
場所：南台病院 外来診察室

実施日	担当	実施日	担当
6月 5日 (水)	勝見副院長	6月19日 (水)	看護部
6月12日 (水)	放射線科	6月26日 (水)	健康管理室
7月 3日 (水)	勝見副院長	7月17日 (水)	看護部
7月10日 (水)	リハビリテーション科	7月24日 (水)	薬剤科

※ 事前の予約は不要です。受付窓口、又は外来看護師まで、お気軽に声をお掛け下さい。
※ 都合により、担当が変更になる場合があります。

